

第66期 報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

CONTENTS

トップメッセージ	P1
部門別の概況・財務ハイライト	P2
トピックス	P3~4
連結財務諸表	P5
財務諸表	P6
会社概要	P7
株式の状況	P8
製品紹介	P9~10



株式会社 鶴見製作所

証券コード：6351

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第66期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、政府及び日本銀行による経済対策や金融政策を背景に企業収益が堅調に推移するなど、景気は緩やかな改善傾向となりました。

また、海外経済におきましては、中国をはじめとした新興国経済の減速、英国のEU離脱問題、米国大統領選挙結果の影響による世界経済の不確実性の高まりなど、総じて景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で当社グループは、中期3ヶ年経営計画「Execution2018」のもと、設定した課題に積極的に挑戦し能動的な展開を図りました。

国内部門では、建設機械市場におきまして、建設工事の減少とレンタル業者のレンタル資産の充実感などから売上高は減少しましたが、設備機器市場におきましては、各分野向けの水中ポンプや脱水機などの売上が堅調に推移し、売上高は増加しました。

海外部門では、北米市場におきまして、鉱山市場や油田、ガス田開発の需要が低迷し、アジア市場におきましても新興国経済の減速等の影響により売上高は減少しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、390億64百万円と前連結会計年度比2.4%の減収、営業利益は、42億94百万円と前連結会計年度比15.8%の減益、経常利益は、45億34百万円と前連結会計年度比10.4%の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は、30

億63百万円と前連結会計年度比7.9%の減益となりました。

なお、当期末の配当金につきましては、普通株式1株につき12円とさせていただきます。これにより中間配当金（1株につき12円）を含めました当事業年度の年間配当金は1株につき24円となります。

今後の経済見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費も底堅く景気は緩やかな回復基調が続くものと思われませんが、米国の新政権移行による経済への影響、欧州を中心とした地政学リスクの高まり、金融資本市場の変動の影響などが懸念され、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

そのような状況の中で当社グループにおきましては、中期3ヶ年経営計画の最終年度において、真のグローバルグループとしての確固たる体制を築き、業績の向上に努めてまいります。

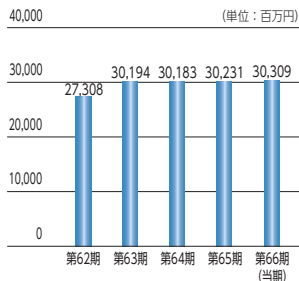
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



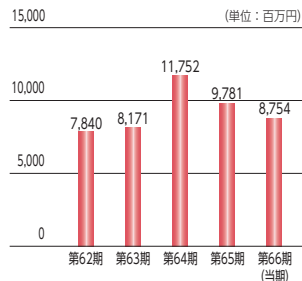
平成29年6月

代表取締役社長

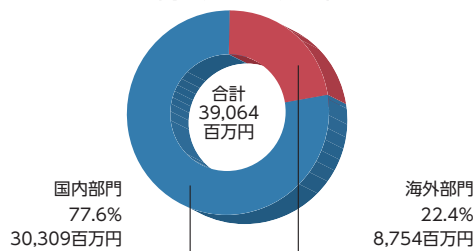
●国内部門



●海外部門



部門別売上構成比率



国内部門につきましては、建設機械市場におきまして、電極式水中ポンプなどの売上増加はありましたが、引き続き建設工事の減少とレンタル業者のレンタル資産の充実感などがあったことから、全体としまして売上高は減少しました。

設備機器市場におきましては、工場設備・水処理プラント・浄化槽・農業関連向け、ゲリラ豪雨対策設備向けの水中ポンプや脱水機などの売上が堅調に推移し、全体としまして売上高は増加しました。

これらの結果、売上高は、303億9百万円と前連結会計年度比0.3%の増収となりました。

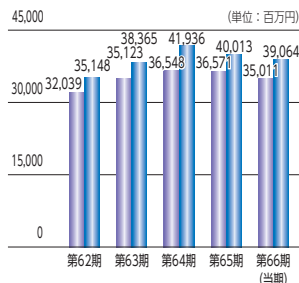
海外部門につきましては、北米市場におきまして、新政権誕生後はインフラ投資の期待感より新規引合いが増加傾向となりましたが、資源価格低下の影響から鉱山市場の需要は低迷し、原油、ガス価格下落の影響から油田、ガス田開発需要が低迷するなど、売上高は減少しました。

アジア市場におきましても、中国をはじめとする新興国経済の減速等の影響によるインフラ投資の伸び悩みにより、ポンプ需要に影響を与えたことから、売上高は減少しました。

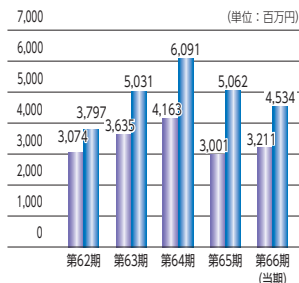
これらの結果、売上高は、87億54百万円と前連結会計年度比10.5%の減収となりました。

■ 単体 ■ 連結

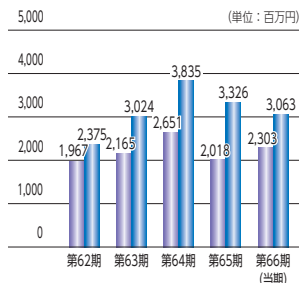
●売上高



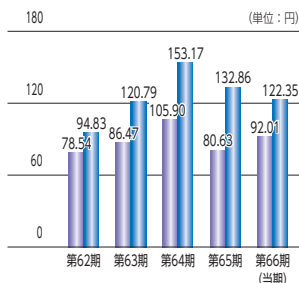
●経常利益



●親会社株主に帰属する当期純利益



●1株当たり当期純利益



納入事例

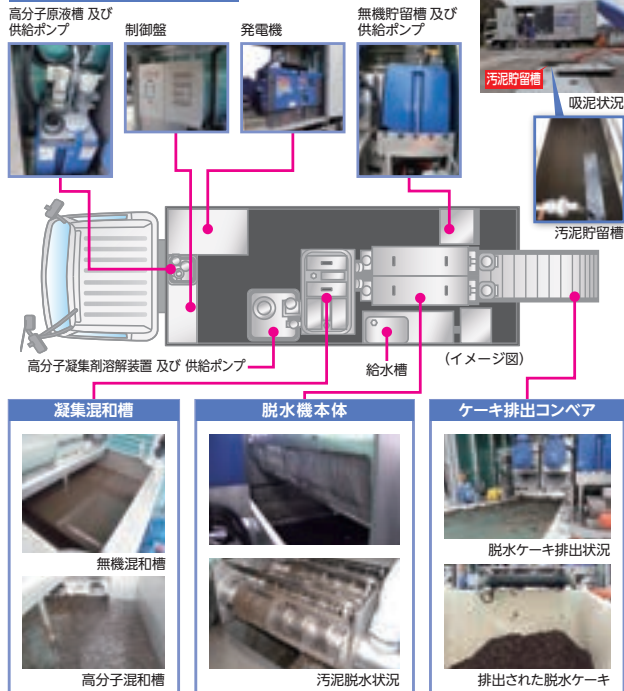
米子営業所

小規模排水処理設備を巡回脱水する 移動脱水車設備として

このたび島根県松江市殿へ移動脱水車を納入しました。車両に多重板型スクリーブレス脱水機を搭載しており、過去に納入した実績による多くの技術蓄積から、技術提案を行った結果、提案内容が認められご採用に至りました。脱水方法はスクリーブレス方式で、メンテナンス費用等の維持管理費を従来のベルトプレス方式の1割以下に低減。一日当たり40tの濃縮汚泥を処理可能で、最も多い処理場で年間24回程度作業する予定です。脱水後の汚泥は堆肥にしており、再資源化する脱水汚泥量は14施設で年間479tを見込んでおります。今まではバキュームカー13台で運搬していたものが、移動脱水車採用によりトラック2台で運べるようになると期待を寄せられております。また騒音が予想以上に低く、住宅地での使用も可能だと好評を得ております。



車両に搭載される主要機器



移動脱水車設備
多重板型スクリーブレス脱水機 (MDC型) 搭載
移動脱水車

納入機器仕様

脱水機搭載車両：車両総重量10.31t (6t車)
<搭載脱水機仕様>
型 式：MDC-352CS (特殊仕様)
形 式：多重板型スクリーブレス脱水機
脱水機本体：φ350スクリー軸×2本
処 理 能 力：140kgDS/h (汚泥濃度2%)
含 水 率：82%未満



脱水機稼働状況

機動性に優れた中型車両に、脱水関連機器や発電機などの全ての機器を搭載！



※車両総重量 11t 未満のため
中型免許で運転できません



納入事例

松山営業所

団地浄化槽の排水処理設備として

他社製の布式脱水機をご使用されていましたが、目詰まりによるろ布交換の頻度が多く、交換の手間や多額の費用が発生する事に対し、大変困っておられました。そこで汚泥の凝集（脱水状況など）試験の実施・入替時のランニングコスト比較による費用軽減や弊社のメンテナンス体制の優位性を団地自治会の方にご説明した結果、弊社製MDQ型を採用頂きました。

排水処理設備
多重板式スクリーブレス脱水機
MDQ型

納入機器仕様

型式：MDQ-104
スクリー軸×本数：φ100スクリー軸×4本
処理能力：12～24kgDS/h
含水率：82%以下



▶ ご紹介動画

「ツルミ多重板式スクリーブレス脱水機MDQ型（稼働状況）」動画をご覧ください。

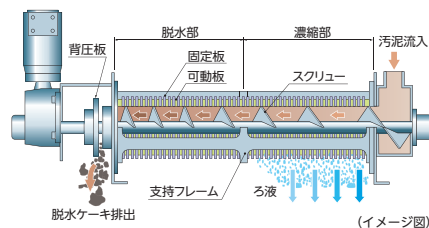


▶ ご紹介動画

「ツルミ汚泥脱水機シリーズ」動画をご覧ください。



本体内部構造



コンパクト設計+省エネルギー

連続自動運転が可能

含油汚泥の処理が可能

少ない洗浄水量

低濃度汚泥の処理が可能

二次公害の抑制+メンテナンスフリー

脱水機稼働状況

汚泥凝縮湿和状況
(脱水機本体へ)

汚泥脱水状況

排出された
脱水ケーキ

●連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	前 期 (平成28年3月31日現在)	当 期 (平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	38,027	39,417
固定資産	24,328	25,367
有形固定資産	11,407	11,099
無形固定資産	554	469
投資その他の資産	12,366	13,798
Point① 資産合計	62,355	64,785
負債の部		
流動負債	9,273	8,771
固定負債	2,437	2,648
Point② 負債合計	11,711	11,420
純資産の部		
株主資本	48,134	50,522
資本金	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,896
利益剰余金	37,451	39,838
自己株式	△ 2,401	△ 2,401
その他の包括利益累計額	1,593	2,008
その他有価証券評価差額金	1,018	1,524
為替換算調整勘定	838	731
退職給付に係る調整累計額	△ 263	△ 246
非支配株主持分	915	833
Point③ 純資産合計	50,644	53,364
負債純資産合計	62,355	64,785

Point① 資産合計

資産につきましては、64,785百万円と、前連結会計年度末に比べ2,429百万円増加しました。これは、主に現金及び預金の増加3,366百万円と投資有価証券の増加1,321百万円及び受取手形及び売掛金の減少1,847百万円によるものであります。

●連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前 期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当 期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売上高	40,013	39,064
売上原価	26,308	26,276
売上総利益	13,704	12,787
販売費及び一般管理費	8,603	8,493
営業利益	5,100	4,294
営業外収益	608	476
営業外費用	645	236
経常利益	5,062	4,534
特別損失	—	144
税金等調整前当期純利益	5,062	4,390
法人税、住民税及び事業税	1,488	1,412
法人税等調整額	109	△ 93
当期純利益	3,464	3,071
非支配株主に帰属する当期純利益	137	8
親会社株主に帰属する当期純利益	3,326	3,063

●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前 期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当 期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,310	5,756
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,309	△ 1,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 872	△ 774
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 331	△ 52
現金及び現金同等物の増減額	△ 202	3,476
現金及び現金同等物の期首残高	8,190	7,987
現金及び現金同等物の期末残高	7,987	11,464

Point② 負債合計

負債につきましては、11,420百万円と、前連結会計年度に比べ291百万円減少しました。これは、主に支払手形及び買掛金の減少589百万円及び未払法人税等の増加214百万円によるものであります。

Point③ 純資産合計

純資産につきましては、53,364百万円と、前連結会計年度に比べ2,720百万円増加しました。これは、主に利益剰余金の増加2,387百万円とその他有価証券評価差額金の増加506百万円及び為替換算調整勘定の減少107百万円によるものであります。

●貸借対照表の要旨

科 目	(単位:百万円)	
	前 期 (平成28年3月31日現在)	当 期 (平成29年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	28,462	29,629
固定資産	24,049	24,965
有形固定資産	9,487	9,314
無形固定資産	214	143
投資その他の資産	14,347	15,507
資産合計	52,511	54,594
負債の部		
流動負債	8,106	8,106
固定負債	2,511	2,519
負債合計	10,618	10,626
純資産の部		
株主資本	40,908	42,536
資本金	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,896
利益剰余金	30,225	31,852
自己株式	△ 2,401	△ 2,401
評価・換算差額等	984	1,432
其他有価証券評価差額金	984	1,432
純資産合計	41,893	43,968
負債純資産合計	52,511	54,594

●損益計算書の要旨

科 目	(単位:百万円)	
	前 期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	当 期 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売上高	36,571	35,011
売上原価	26,529	25,264
売上総利益	10,042	9,746
販売費及び一般管理費	6,906	6,766
営業利益	3,135	2,979
営業外収益	510	415
営業外費用	644	183
経常利益	3,001	3,211
税引前当期純利益	3,001	3,211
法人税、住民税及び事業税	871	1,019
法人税等調整額	111	△ 111
当期純利益	2,018	2,303

ホームページのご案内

<http://www.tsurumipump.co.jp/>

会社案内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

商号  株式会社 鶴見製作所
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

創業 大正13年(1924年)1月5日
設立 昭和23年(1948年)2月12日
資本金 51億88百万円
従業員 978名(グループ計)
(注)従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

●主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造、仕入及び販売(輸出入を含む)並びに賃貸を行っており、それに附帯する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

●役員

代表取締役社長	辻本 治
専務取締役	芝上 英二
取締役執行役員	西村 武幸
取締役執行役員	織田 浩典
取締役執行役員	上田 孝徳
取締役執行役員	鞠山 正継
取締役	掛川 雅仁
取締役	鹿内 茂行
取締役	田中 祥博
執行役員	田中 静夫
執行役員	下田 剛史
執行役員	足立 宗一郎
執行役員	高田 功二
執行役員	原 秋佳
執行役員	池田 茂

(注) 取締役掛川雅仁氏、鹿内茂行氏及び田中祥博氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

●主要な営業所及び工場

大阪本店 ☎538-8585 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号
☎(06)6911-2351(代)

東京本社 ☎110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号
☎(03)3833-9765(代)

京都工場 ☎614-8163 京都府八幡市上奈良長池1番1号
☎(075)971-0831

米子工場 ☎683-0851 鳥取県米子市夜見町2700番地
☎(0859)29-0811

北海道支店 ☎065-0020 札幌市東区北20条東17丁目1番5号
☎(011)787-8385

東北支店 ☎984-0042 仙台市若林区大和町4丁目9番11号
☎(022)284-4107

東京支店 ☎110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号
☎(03)3833-0331

北関東支店 ☎370-0046 群馬県高崎市江木町1716番地1
☎(027)310-1122

北陸支店 ☎920-0059 石川県金沢市示野町西8番地
☎(076)268-2761

中部支店 ☎453-0853 名古屋市中村区牛田通2丁目19番地
☎(052)481-8181

近畿支店 ☎538-0054 大阪市鶴見区緑2丁目1番28号
☎(06)6911-2311

中国支店 ☎731-5132 広島市佐伯区吉見園1番21号
☎(082)923-5171

四国支店 ☎761-8075 香川県高松市多肥下町1554番地28
☎(087)815-3535

九州支店 ☎812-0004 福岡市博多区榎田2丁目9番地30号
☎(092)452-5001

営業所

札幌・旭川・仙台・青森・郡山・盛岡・山形・秋田・高崎・宇都宮・長野・新潟・東京第一・東京第二・千葉・横浜・大宮・名古屋第一・名古屋第二・静岡・岐阜・浜松・金沢・富山・福井・大阪第一・大阪第二・京都・滋賀・阪奈・和歌山・神戸・姫路・北近畿・広島・岡山・山口・米子・高松・松山・福岡・熊本・鹿児島・大分・宮崎・沖縄

●子会社及び関連会社

株式会社ツルミテクノロジーサービス ☎06-6911-2351
☎538-0053 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番43号

H&E TSURUMI PUMP CO.,LTD. ☎852-2730-7208
Unit 2503-5,25/F, Ocean Building, 80 Shanghai Street, Kowloon, Hong Kong

TSURUMI (SINGAPORE) PTE. LTD. ☎65-6760-8338
48 Toh Guan Road East, #01-138, Enterprise Hub, Singapore 608586

TSURUMI (AMERICA), INC. ☎1-630-793-0127
1625 Fullerton Court, Glendale Heights, Illinois 60139, U.S.A.

TSURUMI PUMP TAIWAN CO., LTD. ☎886-3-450-1335
中華民国台湾桃園市平鎮區東龍街1191巷118號

SHANGHAI TSURUMI PUMP CO., LTD. ☎86-21-6710-7612
中華人民共和国上海市工業総合開発区航誼路386号

TSURUMI PUMP KOREA CO., LTD. ☎82-2-701-6356
大韓民国ソウル特別市麻浦区麻浦大路127コンドドンナムビルディング728号室

TSURUMI PUMP (THAILAND) CO., LTD. ☎66-2-294-2886
587/3 Rama 3 Road, Bangpongpan, Yannawa, Bangkok 10120, Thailand

TSURUMI PUMP (M) SDN. BHD. ☎60-3-7803-3373
No.11Jalan PIU3/49 Sunway Damansara Technology Park, 47810 Petaling Jaya, Selangor Darul Ehsan, Malaysia

TSURUMI VACUUM ENGINEERING (SHANGHAI) CO., LTD. ☎86-21-5724-2030
中華人民共和国上海市金山区金山嘴工業区衛清東路2000号

SHANDONG TSURUMI HONGQI ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY CO., LTD. ☎86-536-2968061
中華人民共和国山東省濰坊市濱海經濟開發区渤海路00518号

HANGZHOU CNP-TSURUMI PUMP CO., LTD. ☎86-571-88517209
中華人民共和国浙江省杭州市余杭区徑山鎮小古城村

PT. TSURUMI POMPA INDONESIA ☎62-21-2907-0425
Mega Glodok Kemayoran Lt. UG Blok A5 No.1-2, Jl. Angkasa Kav. B-6, Jakarta Pusat 10610, Indonesia

TSURUMI PUMP MIDDLE EAST FZE ☎971-4-214-6375
6WA 323, Dubai Airport Free Zone, P.O. Box 371731, Dubai, United Arab Emirates

TSURUMI PUMP VIET NAM CO., LTD.
Plot HF-D6e Hiep Phuoc Industrial Park (Phase2), Hiep Phuoc Commune, Nha Be District, Ho Chi Minh City, Viet Nam

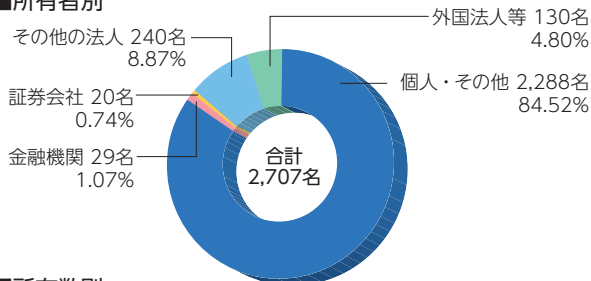
- 発行可能株式総数 100,000,000株
- 発行済株式の総数 27,829,486株
- 株主数 2,707名
- 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社ツルミ興産	1,904	7.61
ツルミ共栄会	1,570	6.27
株式会社三井住友銀行	1,242	4.96
GOLDMAN,SACHS&CO.REG	806	3.22
株式会社三菱東京UFJ銀行	700	2.80
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT	669	2.67
デンヨー株式会社	648	2.59
THE BANK OF NEW YORK-JASDECTREATY ACCOUNT	535	2.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	520	2.08
株式会社有伸興産	518	2.07

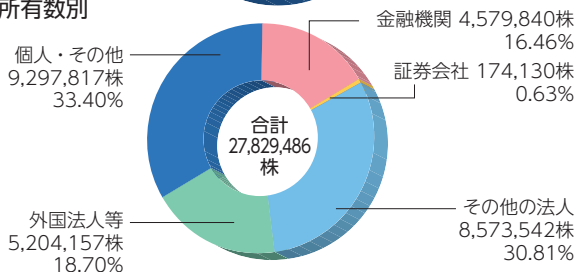
(注) 当社は自己株式2,790千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の状況

■所有者別



■所有数別



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html>

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

水中ノンクログポン

下水処理・取水・雨水排水用に適したラインナップ
高効率で大流量。



吐出し口径
200・250mm
出力
22~75kW

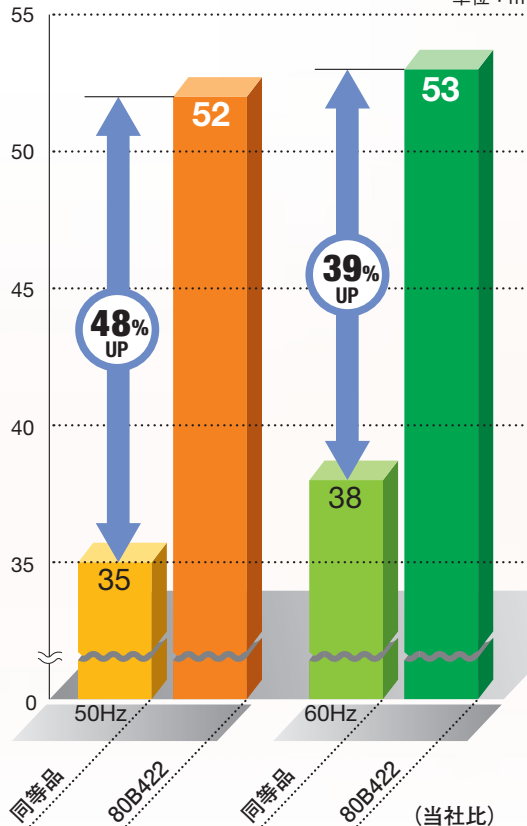
最大流量域で
従来より1ランク
低出力のポンプを
選定可能 (当社比)

プ B 型 高揚程・大流量シリーズ

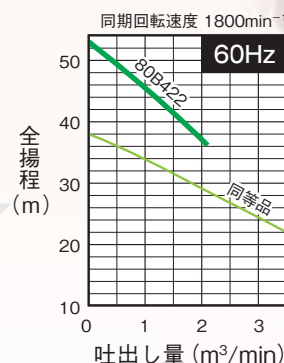
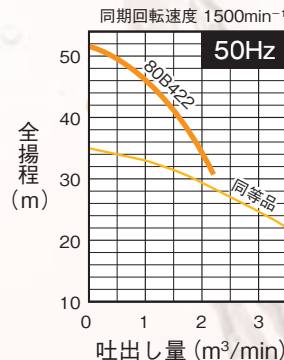
高揚程揚水と優れた異物通過性能を併せ持ち、
汚水・汚物の移送に適したノンクログ形羽根車を採用。

■ 出力22kW性能比較 (縮切揚程)

単位：m



■ 出力22kW性能曲線比較



吐出し口径：80～100mm
出力：11～22kW

Amenics (アメニクス) とは、

Amenity (快適) と工学を表す接尾語 -ics を合体させた、ツルミのオリジナルキーワードです。

人に気持ちよく、都市に心地いい、
地球にやさしい技術の提唱を宣言したものです。

Amenics の4つのコンセプト

快適な暮らしを形にする
Base Amenics

快適な作業環境をつくる
Work Amenics

地球を守る
Earth Amenics

水と人とのふれあいを創造する
Water Amenics

ツルミ発、人と地球への 快適工学
Amenics

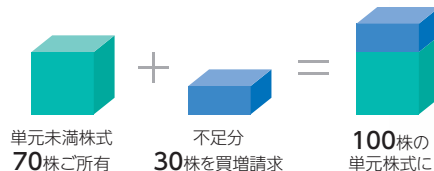


キャラクター
アメニ君

単元(100株)未滿株式 買取・買増制度のご案内

当社では、単元株式(100株)に満たない株式の買取を行う「単元未滿株式買取制度」、単元株式に不足する株式を買増し、単元株式としていただくことができる「単元未滿株式買増制度」を導入しておりますのでご活用ください。

買増制度例



買取制度例



お手続きについて

単元未滿株式が記録されている口座によって、お手続きの窓口が異なります。

1. 証券会社の口座に記録されている単元未滿株式
お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
2. 特別口座に記録されている単元未滿株式
当社の株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

ご注意事項

買増・買取単価は、そのご請求が当社株主名簿管理人事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格です。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



この冊子は、FSC®認証紙と、
環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。